

学校教育目標

さわやかで、たくましく生きる生徒の育成

重点目標

進んで、さわやかに「あいさつ」をする (自 主)	進んで、さわやかに「ボランティア」をする (融 和)	粘り強く、さわやかに「挑戦」をする (勤 勉)
☐ 自分から進んであいさつができる 生徒肯定評価 90%以上 (R1: 89%) ☐ いじめのない明るく楽しい学校生活 生徒肯定評価 98%以上 (R1: 97%) ☐ 基本的生活習慣が定着している 生徒肯定評価 80%以上 (R1: 74%)	☐ 進んでボランティア活動に参加している 生徒肯定評価 60%以上 (R1: 57%) ☐ ミニアクティブに1回以上参加した 生徒肯定評価 80%以上	☐ 授業がわかる・できる・楽しい 生徒肯定評価 90%以上 (R1: 84%) ☐ 学校行事・部活動等が充実している 生徒肯定評価 98%以上 (R1: 行事 97%・部活動 95%)

評価

自立

ファミリー神明

共生

主体的・協働的で深く学ぶ教科

- ・基本的な学習態度、学習習慣
- ・実社会とつながる学習課題
- ・協働的で問題解決的な学習過程
- ・思考の可視化
- ・学んだことの振り返りの充実
- ・言語活動の充実、ICT活用

考え、議論する道徳

- ・量的確保と質的転換
- ・学府重点内容項目の指導
- 「向上心・個性の伸長」
- 「相互理解・寛容」
- ・ローテーション道徳
- ・価値理解・人間理解・他者理解

感動を味わう特別活動

- ・学級の心が一つになる緑風祭(体育大会)、鈴歌祭(合唱コンクール)
- ・心の融和を図る生徒会主催行事
- ・生徒主体のボランティア活動(ミニアクティブ、あいさつ運動等)
- ・自分を鍛える部活動

(自己有用感の醸成)
SC・SSWとの連携
支援員・相談員との連携

「福祉の神明中」

学校自慢(特色ある教育活動)

地域・福祉とつながる
総合的な学習の時間
(アクティブタイム)

一人一人のよさを発揮する福祉活動



コース別学習

- ・点字、介護、車椅子体験
- ・障害者福祉・高齢者福祉
- ・福祉学習の知識と技能を生かす体験学習



地域で行う活動

- ・アクティブタイム
- 1年: 交流センター訪問
保育園・幼稚園訪問
- 2年: 職業ワークショップ・職業体験
- 3年: 高齢者福祉施設訪問



学校全体で行う活動

- ・福祉講演会
- ・学習成果の発表会
- ・福祉学習認定証の取得

地域へ誇る神明中 から 地域が誇る神明中へ
福祉活動や奉仕活動を中心にしたコミュニティスクールの推進

保護者

- ・学校・学年・学級便りの配付
- ・学校評価保護者アンケートの実施と公表
- ・三者面談や教育相談の充実
- ・ホッとメールでの連絡

おやじの会

- ・おやじの会の講話(背中で見せる生き方)
- ・学校行事へのサポート(卒業祝い、校内整備作業)
- ・家庭教育への支援サポート

地 域

- ・学校運営協議会: 学校関係者評価
- ・交流センターや地域の人材活用: 地域の「ひと・もの・こと」等との連携、外部講師の招聘
- ・警察・消防署・社会福祉協議会等: 外部機関との連携・協働

生徒の安全(命)を守る

- ・防犯教育を見直し、保護者や地域と協力して訓練を行う。
- ・自分の命は自分で守る防災訓練、防災教室を実施する。安心・安全な学校
- ・PTA、おやじの会の防犯ボランティア登下校指導を行う。
- ・アレルギー対応委員会による食の安全確認

学校経営目標: 学校運営に参画意識を持ち、全職員が全生徒の担任という意識で、組織的な指導・支援に努める。

- ①包括的な生徒理解と寄り添った指導を心がけます。 ②「わかる」「できる」主体的で協働的な学びを育む授業を推進します。
 - ③たくましい人間力としなやかな社会性を育てます。
- その他: 共同学校事務局